

# 菊川西中だより

## 平成31年度スタート～『聴く』ことを大切に～

4月5日(金)、新任式・始業式及び入学式を行い、平成31年度が始まりました。まず8人の新任職員が挨拶を行い、始業式では着任した匂坂弘校長が次のような話をしました。生徒たちは、緊張しながらも、引き締まった表情で話を聴いていました。

15日間の春休みが終わり、いよいよ新年度のスタートです。すでに新しい元号「令和」が発表になりました。「令」には「良い」「美しい」、「和」には「柔らかな」「和やかな」という意味があります。5月1日からは「令和元年」になります。皆さんは歴史の大きな節目を生きている。「美しく和やか」な時代をつくっていきましょう。



新年度、4月最初の1週間、1か月間がとても重要です。まず何から始めたら良いか。成果をあげる人は、最も重要なことから始め、しかも一度に一つのことしかしない。最も重要なこととは『聴く』ことです。この『聴』という字の左側には「耳」という字が、右側には「目」と「心」という字があります。つまり、聴くということは、**「相手の話に耳を傾け、目線を合わせ、心を寄り添わせながら聴く」**ことなのです。

何かを学ぶとき、人とコミュニケーションを取るときに、“聴く技術”はとても大事になります。聴くことは、勉強することの基本、コミュニケーションの基本です。良い聴き手になることがとても大切なことなのです。

なぜでしょう。考えてみれば当たり前のこと。勉強するということの基本は、人の言うことを聴くことなのです。耳を傾けて聴くという心の構えが求められる。「私が、私が」という自分中心の態度を一度捨てる必要があるのです。人の言葉を聴いている間は、自己中心的な態度を止めている。つまり、**「しっかり聴ける人は、自分をコントロールできる人**なのです。

どうしたら「聴く力」を付けることができるでしょうか。それには二つあります。一つ目は、「目で聴く」習慣を付けること。二つ目は、「軽くうなずいたりしながら聴く」癖を付けることです。そうすれば話す人も、一層聴きやすい話をしてくれます。

自分は聴く力が弱いと思う人は訓練して、素晴らしい聴き手となりましょう。菊川西中での生活も、2年生はあと2年、3年生はあと1年しかありません。あっという間に過ぎていきます。かけがえのない1日、1日に力を注いでください。さっそく素晴らしい聴く態度でした。ありがとうございます。これでお話を終わります。

さらに「生徒代表の言葉」では、2年5組夏目葵大さん、3年2組佐藤遙斗さんが、今年度に懸ける自分の決意を壇上で堂々と述べました。さすが菊川西中を引っ張っていく先輩たち、頼もしい限りです。新たな時代にふさわしいスタートができました。